

下呂市との共同研究に関する情報の公開について

現在、栄養疫学・食育研究部 国民健康・栄養調査研究室では、下記の共同研究を実施しています。

記

1. 共同研究課題名

幼児の推定食塩摂取量と食事要因の解析に関する研究

2. 研究責任者

瀧本 秀美（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部・部長・医師）

3. 情報の提供を行う機関

下呂市役所健康福祉部

4. 研究目的

平成 29 年国民健康・栄養調査結果における日本人の食塩摂取量は、男性 10.8g、女性 9.1g であり、食事摂取基準 2015 年版の目標量（成人男性で 8g/日未満、成人女性で 7g/日未満）には達しない状況です。日本は西洋諸国と比較して食塩摂取量が高く、伝統的な食生活に起因すると考えられています。本研究の対象地区となる下呂市は岐阜県の中央に位置し、内陸性気候で冬季雪が多い地域です。特定健康診査の受診率および保健指導率は岐阜県内で高いにも関わらず、I 度・II 度高血圧の者の割合が高く、脳血管疾患で治療している者の割合が高いことが課題となっています。このような背景から、平成 30 年より行政機関が主体となって減塩推進事業を開始しました。また、家庭内において子どもの食習慣は、家族である大人の食習慣に影響されることが多いため、対象地区の幼児の食塩摂取量の過多が懸念されます。子どもの頃の食習慣は大人になっても継続されることから、幼児期から適切な食習慣を身に付けることが重要です。しかし、幼児の生体試料（尿）を用いて食塩摂取量を把握し、食事要因との関連を検討した研究はほとんどなく、知見の集積が必要です。そこで本研究では、地域在住の幼児を対象として、一日尿中食塩量を把握し、食品・栄養素摂取状況との関連を調査します。

5. 研究方法

1) 対象地区・研究対象者

岐阜県下呂市に居住し、下呂市の平成 28 年度～平成 30 年度の 3 歳児健診を受診された幼児および保育園尿検査を実施された幼児約 1200 名

2) 研究に用いる情報

- 一日尿中食塩量
- 食事情報

- その他：年齢、性別、身長、体重

3) 解析実施場所

医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部

6. 研究期間

倫理審査委員会承認日から 2022 年 3 月 31 日まで

7. 個人情報の取扱い

本研究で用いる情報は下呂市役所健康福祉部にて個人が特定されない形に加工されます。医薬基盤・健康・栄養研究所には、研究に用いる情報のみが提供され、個人情報は提供されません。

8. 研究組織

下呂市役所健康福祉部

医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部

9. この件に関するお問い合わせ先

本研究に関するご質問等は、研究対象者の保護者の方が下記の連絡先までお問い合わせください。情報の授受に際して、個人情報の保護は十分に確保された上で行いますが、提供を取り止めることは可能です。情報の提供を取り止めても、不利益を被ることはございません。その場合は、下記までご連絡ください。

■ 本研究に関するご質問等

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部 国民健康・栄養調査研究室

〒162-8636 東京都新宿区戸山 1-23-1

Tel: 03-3203-5724

■ 情報の提供を取り止める場合

下呂市健康福祉部健康医療課

〒509-2517 下呂市萩原町萩原 1166-8

Tel: 0576-53-2101

以上